

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	再発・難治多発性骨髄腫に対する治療選択に関する後方視的検討
	研究目的	多発性骨髄腫の生存期間は著明に延長をしていますが、特に二次治療においては複数の有用な治療選択肢が存在し、患者因子、疾患リスク、治療歴を考慮し選択することが学会ガイドラインでも推奨されていますが、各治療選択肢の有効性及び安全性を直接比較した臨床試験データが存在しないことも多く、より良好な治療効果を得るための二次治療以降の治療戦略は十分に確立していないといえます。本研究では当院のデータを用いて、二次治療以降の治療内容が予後に及ぼす影響を検討します。
	研究対象者	2012年01月から2020年06月に当センター血液・腫瘍内科にて多発性骨髄腫に対し再発後治療を受けた患者さん。
	研究期間	西暦 2021年 1月 25日 ~ 西暦 2022年 12月 31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	血液・腫瘍内科 医長 高橋 寛行
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	血液・腫瘍内科
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	該当なし